

異物誤飲対策

暖かくなってきました。春から夏にかけてのこの時期、実は子供の事故が増える時期でもあります。どうしたら事故を防げるのか？今回は事故の中でも異物誤飲についてご説明します。

異物誤飲のほとんどは 5 歳以下でおこします。誤飲物として発生が多い物は、1 位タバコ、2 位医薬品、3 位ボタン電池です。

- ① タバコ、ここ 20 年、誤飲物のトップは常にタバコです。特にジュースの空き缶などを灰皿代わりに使うのは誤飲のもとですから注意してください。タバコを口に入れてモグモグしてた程度であれば心配いりませんが、タバコの浸っている液を飲んだ、電子タバコのニコチンカートリッジの誤飲では、胃洗浄を含めた早急な医療機関での対応が必要となります。事故を防ぐ究極の手段は「禁煙」です。家にタバコがなければ事故はおきません。
- ② 医薬品、比較的大きい子（2~3 歳）はお菓子と間違えて食べて受診することがあります。睡眠薬などの誤飲では呼吸障害を起こすこともあり非常に危険です。誤飲したとわかったら、牛乳を飲ませてスプーンなどで喉を刺激して吐かせて下さい。その後は速やかに医療機関の受診をお願いします。
- ③ ボタン電池、食道や胃の中で電池から電流が流れ、低電圧熱傷を起こします。食道や胃が破けることもあり、誤飲が確認出来れば除去が原則です。飲み込んだ疑いがあれば速やかに医療機関の受診をお願いします。

直径 3cm 程度の物であれば赤ちゃんでも飲み込みます。床~1m 程度の高さの所までに、トイレットペーパーの芯を通りそうな物は置かないようにしましょう。もし誤飲が疑われたらかかりつけを受診するか、（公財）日本中毒情報センター中毒 110 番（大阪 072-727-2499 24 時間、つくば 029-852-9999 9-21 時）に問い合わせして下さい。